不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

次のことを通して、生徒がなりたいと思う大人をめざします。

1　私たちは、誠実・公平をモットーに行動します。　　2　私たちは、他者を思いやる心で取り組みます。　3　私たちは、崇高な使命を自覚し、法令を遵守します。

三原市立第四中学校　作成責任者　校長　森永　弘美

区　　分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事は今の自分には関係ないという意識や自分事として捉えきれているが、日々の中で不祥事根絶の意識が薄らいでしまう。	○服務研修の方法や内容等を見直し、自ら参加する研修や自分も該当しそうな事例研修等、実感して捉えられる内容とする。 ○「不祥事根絶に向けた本校の決意」を名札裏に掲示し、確認する	○不祥事防止委員会等で内容について協議し、より自分のこととして捉えられる研修内容に改善する。服務研修毎にチェックリストに記入し、自分を振り返る。 ○「不祥事根絶に向けた本校の決意」を掲載して全員で確認する。	○服務研修で R80 振り返りを管理職で内容を確認しながら、自分事としての捉え方の把握をする。また、不祥事防止委員会で服務研修の内容を改善・修正を協議する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○教職員個人の技量・自覚に依存する傾向がある。 ○生徒指導や生徒対応について、教職員一人での対応になりやすい。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○各主任が他の教職員を日常的に指導する体制を確立し、マニュアルを基本とした動きができる。	○経営会議等で仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○各教員が研修の指導者を担当し、研修の内容等立案実施する。	○月に1回、経営会議で情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○学期始めなどに担任による個人面接を実施しているが、時間が十分に取れていない。	○面接週間を確実に設定し、活用を図る。	○面接週間を年間計画に設定する。また、学期末にアンケートを実施し、いじめを含めた生徒の悩みを受け止め、情報を共有し取組に活かす。 ○SC や心の相談員と連携し、生徒の状況把握に努める。また、情報の交流や共有化を図る。	○学期末懇談会等における保護者からの聴取記録を作成する。 ○いじめ防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。